COMPASS 中津 Sweet

令和３年９月 15 日計講

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和３年 12 月 13 日公表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を具体的に記載ください
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準を順守した定員を設定しております。 利用定員が体調や空間で療育を受けられるよう、個別・集団で対応部分（ゆとり）を設けたりとか、ボッチ等の配置を工夫するなど、落ち着いて療育が受けられるよう、工夫しております。 ご家庭の事情で対応として何とか対応の一定のスペースを配慮などしているとしております。	利用定員の状況を常に考慮し、特性にも配慮した個別対応の使い方を工夫し、利用定員の状況を常に考慮しの配置などスペースを一緒に使用しての療育が受けられるように努力しています。
	職員の配置数は適切である	○		基準配置以上の配置数であり、面談処遇は全て有資格者を配置しております。	今後も、個別療育や専門性を活かした療育をおこなっていきます。
	事業所の設備等について、バリアフリーなどの配慮が適切になされている	○		個々の特性に合わせ、写真や絵カード等で視覚的に分かりやすい表示をおこなっております。 また利用児が安心に過ごせるようなゾーニングの配置、色使いなども配慮をしております。 段差はバリアフリーにされており、車椅子にも対応しております。	今後も、安全と分かりやすく概念化させた部屋に配置していきたいと考えております。 また現在、車椅子利用の児童はいませんが、段差のない配置の一部を敷物を重ね、車椅子での移動には支エリア対応としております。
	事務処理を進めるためのPDCAサイクル（日課設定と振り返り）に応じて結果が評価している	○		毎月のリフレクション会議、毎日のミーティングで発表、療育報告用パソ会議議録の閲覧などを通じて共有しており、改善策をもとに情報を作っております。 PDCAサイクルに基づいた課題分析をおこない、その分析と共通課題、意思統一の機会を設っています。	全職員が意見を出しやすい環境を作りや強も共通認識、意思統一の機会を一層設っています。
業務改善	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者様宛ての、公式ホームページにて、評価の結果は、公式ホームページにて公表しております。	今後も結果は公式 web サイトで公開いたします。 また、改善点については早急に対応しております。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		開時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討しております。
適切な支援の提供	職員と親御さんの話しやすい工夫している	○		コロナ禍の為、外部の研修には参ラように参加出来ておりません。 Zoom 等だとなかなか参加しにくいと感じ、ご家庭の事情等、参加しやすいように現状、共有出来るように内容の工夫をしております。	コロナ禍のでもなるべく多く研修に参加できるよう工夫を出来ております。 また他室の職員や参加されつつなく時与日切で参職員が参加できる研修計画を立て、研鑽に努めております。
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズの聞き取りや、本人の状況に上、放課後等デイサービス計画を作成している	○		主観的になりないよう職員からの意見を聞き、検討しております。 また、個別療育の中で、本人の様子、利用児の現状や、変化を踏まえ、方向性を考慮しつつ作成をおこなっております。	今後も保護者様との面談の中で保護者様が利用児のニーズや課題をうまくに把握、検討しています。
	子どもの適応行動の状況を把握する ツールを用いて、適切なアセスメントツールを使用している	○		全事業所で統一された様式ツールを使用しております。 保護者様のニーズを尊重して、本人を関係機関からの情報も取り入れ様々にしながらより正確にアセスメントができるようなのがしております。	病院や関係機関からの発達検査結果なども取り入れながら、より子様や家族にアセスメントができるようにしています。
	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月職員会議をおこない、各職員からアイデアを出しにくいようなプログラムを立案しています。 立案の際には役割分担を明確にしてチーム仕立ててしかしながらおこなっています。	全職員から多くの意見やアイデアを出してもらい、利用児全員が楽しく参加できるようなプログラムを立案していきます。
	活動プログラムの固定化しないような工夫している	○		個々の利用児童に関しては毎月個別活動プログラムの見直しを検討しております。 全体的には毎月のおたよりを通知をお渡ししたり、利用児童が参加の可能かどうかを確認する。利用児童の意向を把握したりしながら工夫や検討をおこなっています。	コロナ禍で活動の内容や認識は異なっていますが、常に利用児童の状況や意向を考え、楽しく活動できるよう工夫をしています。
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を含め組織的に設定して支援している	○		平日の現状とは、休日、長期休暇、日中ゆとりを含め時間で課題に応じて、タイムスケジュールを設定しております。 活動予定や課題の計画を立て実施しております。	利用児童のニーズを取り入れながら、ゆとりと活動内容を設定していきます。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		現在は平日中心個別活動、午後からは集団活動と適宜支援計画や利用童の状況を把握しながら、その時に合った活動を選択しております。 コロナ禍の現況を考慮しながらなるべく、工夫もしながら個別活動を行っております。 また、支援計画作成で重要視しているのは、その時点の状況と必要な課題内容でまるのかを十分に勘案することを大切にしております。	今後も個別や集団、それぞれの活動を利用児童の状況を最大限に考慮した工夫、活動内容の充実を図っていきます。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、支援開始時に、ミーティング を行い、申し送りの確認や役割分担の確認をおこなっています。 ミーティングに参加できない職員にはミーティング議事録を閲覧してもらうことで、情報共有の徹底に努めております。	今後も、その日の役割分担や支援内容について、確認しあい、情報共有の徹底に努めます。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、または翌朝のミーティングで支援内容の振り返りをおこなっています。 その中で気づいた点、工夫の点等を出し合い、成果に繋がりそうなことや支援に工夫が必要なことなど、次の支援に取り入れるようにしています。	各職員が気づいたことはどんな小さなことでも報告しあえる様に努めます。
	日々の支援に関して正しく記録をとることが出来ている。支援の検証・改善につなげている	○		毎回活動の記録を取り毎週末ごとに見直しをおこなっております。 記録内容の力に関しては、全職員が同じレベルで検証・改善を図れるように、ケアの内容の共通理解に努めております。 勤怠に対応すべき事例に関しては、すぐにケース会議を開き、情報共有を図っています。	今後もふだんの記録の力を全職員が同じレベルでできるように努め、職場・連絡・相談をおこなっています。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的（6か月以内）にモニタリングをおこない、日標達成状況を考慮の上、必要に応じて、見直しをおこなっております。 また、その際に保護者様の意向、利用児童の現状を慎重に考え見直しをおこなっております。	今後も継続してモニタリングをおこない、保護者様の意向や利用児童の状況を考慮して常に家庭とやっていただきます。
	ガイドラインや国が示した基本活動を事業所内の目的として支援を行っている	○		保護者様のご意向や利用児童の特性を十分に考慮し、適宜に選択するようにしております。 また、内容の詳細を考慮して最大限の効果を図れるよう、日頃から支援計画の見直しを行い、利用児童の特性に合わせた支援プログラムを作成し、支援しております。	今後も個別や集団、それぞれの活動を利用児童の状況を最大限に考慮した工夫、活動内容の充実を図っていきます。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者をふさわしい者が参画している	○		担当者会議には利用児童の状況を一番把握している保護者様が参加されています。 担当者が参画しております。 特別な事情があるお時間などは、その利用児童と関わりの深い職員が同行する場合もあります。	放課の度合も十分に完象熟達支援理解に各が対応して、より質の高い現状把握に努めています。
関係機関や保護者との連携の状況	学校との情報共有（年間計画・行事予定等）やスケジュールの調整は適宜、適切に連絡調整（送迎時の相談、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校や保護者様に依頼し、行事予定・下校時間予定等のコピーをいただいております。 送迎時の電話連絡などや手紙や情報共有のシステム・トラブルに先回連に対応できるよう努めております。	今後も情報共有に努め、継続して連携が取れるように努めております。
	医療的ケアが必要な子どもを預かる場合は看護師などを配置し、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはおりません。	事業所は重点の身障家以外の児童が対象となっていることもあり、今後医療的ケアが必要な児童が対象となった場合は慎重に、受け入れ体制・事業所のあり方を検討して整備していきます。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有や相互連携に努めている	○		開時点では、主に保護者様から情報をいただいた、必要に応じて保育所様、幼稚園様、学校様に連絡をおこなっております。 また、保護者様のご意向や状況、保護者様と相談をおこない、必要に応じて情報共有を図っております。 また、保護者様のお悩みや起因等は保護者様で対応されるようにしております。	今後も関係機関との繋がりを切らさず、関係性を継続していきます。
	学校や家庭、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所や医療機関に対し、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		個々の児童の連携については、保護者様と相談をおこない、必要に応じて情報共有をおこなっております。 また、個別療育の中で、本人の様子、活動状況や、変化を踏まえ、方向性を考慮しつつ作成をおこなっております。 また、ご家庭の事情で対応として何とか対応の一定のスペースを配慮などしているとしております。	今後も保護者様や関係機関と連携を取りながら支援をおこなっています。
	児童発達支援センターや保護障害者センターなどの支援センターとの連携、助言や研修を受けている	○		専門機関や関係機関へは、合同研修や会議を通して助言をいただいております。 また、療育スキルの向上のための療育関係全般の研修にも積極的に参加させていただいています。	今後も、ご家庭に連携を図り、より一層の関係作りに努めます。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍ですから、現時点では交流機会はありません。	コロナ安実施に保護者様のご意向もかんとって、交通機会を検討し、施設の環境を安全で活かるように努めていります。
	地域の文化祭・協議会等へ積極的に参加している	○		毎年、中津市で行われています「ピア祭典」に活動が実施されていております。 その中でレクリエと意見交換をおこなっています。今年度はコロナ禍で子ども会の活動がいたされておりません。	今後状態が行われた場合は、機種的に全ロかりてしたいです。
	就学に向けて、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所や医療機関に対し、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		連絡帳や送迎時に、その日の療育内容や利用児の様子を伝えております。 連絡帳には保護者様から同った情報を療育に繋げられるよう、ご家庭のお困りごと等を書いていただいております。	今後も保護者様が安心してイさせる情報伝達の充実を図っていきます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングの支援を行っている	○		支援計画を作成する際、子育ての悩みや困りを把握した上で、支援者が保護者様と共同作業で、ペアレントトレーニングを実施しております。 まずは保護者様のお話を聞くことが信用と安心に繋がると考えています。 ので、保護者様と接する際、ご家庭でいることをのびかけております。	今後も保護者様と利用児童の関係構築、ご相談に応えていけるよう関係を深めています。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングの支援を行っている	○		連絡帳や送迎時に、その日の療育内容や利用児の様子を伝えております。 連絡帳には保護者様から同った情報を療育に繋げられるよう、ご家庭のお困りごと等を書いていただいております。	今後も保護者様が関係機関と連携を取りながら支援をおこなっています。 今後も保護者様と利用児童の関係構築や、ご相談に応えていけるよう関係を深めています。
	障害児相談支援の利用、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や事業所に関する変更内容があった際には、保護者様に安心していただけるよう必ずご説明をおこなっております。 丁寧な説明を心がけています。	今後も丁寧な説明に努めています。 また、ご質問があればその都度対応させていただきます。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談や、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や送迎時に保護者様から子育ての悩みや相談を頻繁に、保護者様のお気持ちに寄り添えるよう、その都度適切なアドバイスをおこなっております。 また、保護者様のお悩みや起因等は全て保護者で情報共有し、誰もが適切に答えられるよう努めております。	今後も保護者様のご相談には丁寧に対応しています。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等による、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍の状況により今年度は活動を中止しています。 コロナ禍でも開催できるように工夫して開催できるように準備しております。	コロナ禍による現状のため保護者会は実施できておりません。 コロナ安定後に開催してもスムーズに実施できるよう調整しています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情への対応は開時点では、契約時にご説明をおこなっております。 また児童発達支援管理責任者や管理者が対応をおこなっております。 苦情内容は、その内容を、ご家庭の状況を考慮しながら、ご家庭の状況に合わせた対応を心がけております。 苦情内容は、その内容を、ご家庭の状況に合わせた対応を心がけております。	今後も苦情には迅速に対応し、より丁寧な説明を努めます。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式 web サイトの情報を発信しております。保護者様にもお知らせしております。 また、定期的に「コンパスだより」を発行しております。	今後も保護者様へのお知らせを継続し、療育内容をより良く理解してもらえるよう、より詳しい情報を お知らせできるよう努めています。
	個人情報に十分注意している	○		施設だけでなく保管場所に個人情報の重要書類は保管しております。 鍵の取り扱いには十分に注意をしております。 また必要がなくなった書類等に関しては、清めのセレンシェリーブーの廃棄を徹底しております。 保護者様と契約の際に個人同意書の条件以外ではしない個人情報の漏れないように細心の注意を払っております。	今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
	障がいのあるお子さんや保護者との信頼関係や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に合わせた接し方の工夫実施、情報伝達ツールを作り、分かりやすく情報が伝達できるようにしております。 保護者様とは、ご家庭の状況やいろいろ個別相談を常にしているよう日頃の会の個別相談にて、また、ご家庭の状況やスムーズに交換し合えるように努めております。	今後も、ご家庭の状況を考慮して、行事等は個別、ご家庭の状況に合わせた対応を心がけます。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在はコロナ禍の状況を鑑まて、行事等は自粛しております。 状況が落ち着き安定後、招待行事の企画をしたいと考えております。	行動として地域に開かれた事業運営を図っていきます。コロナの状況が落ち着く頃に地域発信等を積極的に展開していきます。
非常時の対応	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		日に一つ所にマニュアルを貼り込まこれなどできるようにしております。 また、現在は、コロナ禍の状況を踏まえ、でもなるべく、ご家庭の状況や、ご家庭の事情の徹底、定期的な徹底等に安全対策に努めております。 感染症に対しては、ご家庭の状況を踏まえて対応をお伝えし、情報共有を図っております。 また、コロナに対するマニュアルを作成し、対応しております。	当事業所では感染症の流行前の対応マニュアルを予防対策や流行の状況変化対応しお知らせしております。 また保護者様へのお知らせ自体がなかなか一般の工夫が、例えば写真、動画、図、絵、などを作成しマニュアル作成はもちろん、消防等や緊急時の対応マニュアルなど、より高度な訓練ができるよう計画し、保護者様にお知らせすると共に安心して利用いただける態勢作りに努めております。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回、定期的に、消防署の指導の下、実施しております。 また、毎回行う職員会議の中で、毎回、全スタッフ参加しております。 また、年間定期的に、高齢の際の避難訓練を実施しています。	コロナ禍の状況下、緊張要の訓練等に参加しやすくなり参加率は増加しており、ありがたいです。より工夫をしたりまたの高度な訓練をこなっ事態に対応しています。 また、訓練前後の完璧の様子を把握しているアンケートを分析改善して努めております。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の連携研修などの研修に必ず参加し、参加した職員が事業所内研修で周知をおこなっています。 また、毎回行う職員会議の中で、毎回、全スタッフ参加しております。 また、年間定期的に、高齢の際の避難訓練を実施しています。	今後もしっかりと虐待防止について研修を受講し、知識を深めています。
	どのような場合にケガを伴う事故発生となるかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		利用契約書と合体用紙の説明を通して、説明しております。 以前、ケガを伴う事故が発生した際、以前の事故の経験を踏まえ、それでも緊急時の対応の仕方が、ご家庭の方にはあらかじめ定義とされた保護者様からの同意を得るようにしております。	今後もしっかりと説明をしていきます。 また、ご家庭の方にはご理解を得られるよう努めています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在食物アレルギーを持つ利用児童はおりませんが、今後の利用の中で、対応が必要な児童が来られた場合、医師の指示書に基づいた対応を実施の用意の上、適切な対応が取れております。	保護者様からの情報を共有し、医師の指示を頂けます。また、職員の周知徹底を図っています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書は全職員対象しかず、ヒヤリハット事例集を作成しております。 ヒヤリハットは、ほんの少しの油断から起こり得る事故などの予防でもヒヤリとした、ハッとした経験を書き作成するようにしております。	特に重要な出来事は、ご家庭に再発防止のため、必ず職員間で話し合いをおこなっ、共通理解を図り事故防止に努めております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。